

令和4年度第2回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和4年7月6日(水)

授業参観 13:30~14:20

委嘱状交付 14:30~14:40

協議会 14:40~15:30

2 場所 湖南高等学校 図書室

3 参加者

委員(敬称略・順不同)

小山 伝一郎、大内 紀男、満田 仁一、鈴木 勝美、桑名 秀一郎、和田 祐樹、  
薄 良枝、片平 力也、山口 正国、酒井 祐治

事務局

渡辺 延幸、星 祐司、森 修、高柴 有一、三橋 和佳、五十嵐 稔、大山 洋子  
久住 貴紀

4 内容

(1) 開会のことば

(2) 会長あいさつ 小山会長

今日は大変暑い中お集まりいただきありがとうございます。本日、任命状をいただきまして、これから2年間、皆さんと協力しながら学校の力になっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(3) 校長あいさつ 酒井校長

本日は暑い中お集まりいただきありがとうございます。授業参観により、先生方が生徒達に対して丁寧に教えているというのがわかっていただけたかと思っております。趣向を凝らして授業をやっていただいております。生徒達も興味関心を持って真剣に取り組んでいます。

近況のお話をします。まず、ボート部2年生の藤原早稀が県高校体育大会で優勝し愛媛県で行われるインターハイに出場することになりました。また、県総体では3年の諸橋俊輔と2年の藤原早稀がそれぞれ優勝し、7月中旬に岩手県で行われる東北総体に出場することになりました。これらの活躍は地域の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

6月4日、埼玉県の城北埼玉高校との交流で田植えを行いました。生徒達にとっても珍しい体験であり、喜んで取り組んでいました。職員も初めて「がち引き」などを体験することができ、楽しい一日となりました。10月7～9日、城北埼玉高校の皆さんに再び来ていただき、一緒に収穫する計画を立てております。

6月25日、東京日本橋の福島県のアンテナショップMIDETTE館でイベントをすることができました。桑名秀一郎さんの協力のもと、生徒の蕎麦打ちの実演・販売をとおして湖南の魅力を発信してきました。当日は暑さのためか、思いの外、来客者が少なかったのですが、来館された方から温かいメールが届くなど、高校生の力で湖南の魅力を知っていただけたと思います。

7月4日、タレントの「あばれる君」が番組撮影のため来校し、一緒に蕎麦打ちを行いました。

7月5日、郷土料理の学習会を行い、太田屋さんご協力のもと、生徒達が「赤はらの天ぷら」にチャレンジしました。

今後の予定としては、11月19、20日に耶麻農業高校、福島商業高校との交流及び岩瀬農業高校で栽培された花の販売会を実施したいと思います。蕎麦については、耶麻農業高校と湖南高校の食べ比べをしたいと考えております。

引き続き、生徒達が主体となって他の地域の方々に向けて湖南の魅力を発信していきたいと考えています。

#### (4) 学校からの報告 星教頭

コミュニティ・スクールとしての取組内容について報告。

※資料2ページから7ページ参照

#### (5) 地域連携担当教員等研修会報告 久住教諭

地域と連携し教育活動を行っている県中地域約50校の小中高の中でも、とくに様々な取組にチャレンジしているという理由から、県中教育事務所より活動の様子を紹介してほしいとの依頼を受け、久住教諭が県中域内地域連携担当教職員等研修会において取組内容を発表。

※資料9ページから15ページ参照

#### (6) 協議 「コミュニティ・スクールと進路実現」

・面接指導をさせていただいた経験から、生徒の就職後の定着状況はどうか知りたい。

・卒業生の情報になってしまうが、何人かは1、2年のうちに辞めてしまう。

・時代とともに転職の印象も変化しており、転職自体、前向きに考える人が増えている。

・蕎麦プロジェクトや古民家再生など、生徒と一緒に活動する中で、湖南高校の生徒に私のところに就職してほしいと考えることもある。農業や建築業など、湖南町で湖南高校生を受け入れられるようになれば良いと思う。

・進路実績だけではなく、湖南高校でたくさんの体験をし、卒業時に自分の足でしっかりと歩いていくことができる生徒の育成を重視していきたい。

・地元の子の方が湖南の魅力に気づいていない。湖南小中の生徒に地元にもいろいろな事に取り組んでいる面白い学校があることを知ってもらいたい。

・湖南高校があることで、地域の交通が確保されていることから、郡山市内から生徒に来てもらうことは大事なことだと思う。

・湖祭りも柔軟な発想をもった高校生に企画の段階から参加してもらい、まったく違ったアイデアを出してもらえれば良いと思う。

・湖祭りでアイデアを出すだけではなく、祭りを運営するための寄付集めに同行することで、さまざまな職種を知ることができる。また、行事を開催するまでの経過や多くの方たちの協力が必要であることを理解することができるなど、キャリア教育にもつながる。

・今活動していることが、なかなか進路に直結しないのが現状であるが、湖南を知り、魅力を発信していくことで気づくこともある。5年後、10年後、湖南で起業するような生徒が出てきてくれることも運営協議会の理想かと思う。

・今年度も就職試験のための模擬面接を運営協議会委員の皆さんを中心にお願ひしたい。期日が決まり次第依頼させていただく。

## (7) 閉会のことば

### ※諸連絡

次回、第3回学校運営協議会は10月14日(金)です。よろしくお願ひします。

(16:00 終了)